

令和 7 (2025)年度金沢大学養護教諭特別別科入学者選抜試験問題

専門科目（看護学）

（注意）

- 1 問題冊子は指示があるまで開かないこと。
- 2 解答用紙各ページの所定欄に、受験番号を記入すること。
- 3 問題冊子は 1 部（表紙含め 4 枚）、解答用紙は 3 枚である。
- 4 解答はすべて解答用紙の指定のところに記入すること。

問題1 感染予防に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑩) にあてはまる適切な語句や数字を、解答欄に記入しなさい。

- 1) スタンダードプリコーション (標準予防策) とは、「すべての (①) は、伝播し得る感染性微生物を含んでいる可能性がある」という概念を前提とした感染対策である。
- 2) スタンダードプリコーション (標準予防策) の項目は、(②)、(③) の使用、呼吸器衛生／咳エチケット、患者配置、患者ケアに使用した機材・器具・機器の取り扱い、周辺環境整備および (④) の取り扱い、安全な (⑤) 手技、特別な (⑥) 手技での感染予防対策ならびに針刺し、切創、皮膚・粘膜曝露予防など (⑦) の安全である。
- 3) 伝染性病原体の主な感染経路には (⑧) 感染、飛沫感染、(⑨) 感染がある。(⑨) 感染とは、微生物を含む直径 (⑩) μm 以下の飛沫核が長時間・長距離間空中を浮遊、これを吸入することにより伝播する。

問題2 末梢循環系の構造に関する以下の文章を読んで、正しいものには○、正しくないものには×を、解答欄に記入しなさい。

- 1) 大動脈弓から出る3本の枝のうち、第1の枝は総頸 (頸) 動脈で、ただちに分かれて右の鎖骨下動脈と腕頭動脈になる。
- 2) 脳への血液は、左右の内頸 (頸) 動脈と椎骨動脈の合計4本で供給される。
- 3) 腹大動脈から出る消化器への枝のうち、上腸間膜動脈は、十二指腸の下半分より下の小腸と、横行結腸右1/3あたりまでの大腸、さらに膵臓の一部に血液を送る。
- 4) 上腕動脈は肘窩で橈骨動脈と尺骨動脈に分かれる。そのうち、橈骨動脈は手首の小指側で脈を触知できる。
- 5) 内頸 (頸) 静脈と鎖骨下静脈の合流部を静脈角とよぶ。

問題3 下肢の骨格と筋に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑩) にあてはまる適切な語句を、解答欄に記入しなさい。

- 1) 骨盤は、脊柱の一部の仙骨 (および尾骨) に、左右の (①) がつながったものである。(②) 骨盤という中央のくぼんだ部分と、(③) 骨盤といってそのまわりに翼のように広がった部分とに分かれる。
- 2) (①) は、小児では腸骨、(④)、(⑤) の3つの骨に分かれているが、(⑥) になると癒合して単一の骨になる。
- 3) (⑦) 筋は後腹壁 (第12胸椎～第5腰椎、腸骨窩) からおこり、鼠経靱帯の深層をくぐり、(⑧) に停止する。股関節で大腿を屈曲する。
- 4) (⑨) 筋は骨盤の後面 (腸骨翼) からおこり、(⑩) に停止する。股関節で大腿を外転する。

問題4 今日のがん治療に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑫) にあてはまる適切な語句を解答欄に記入しなさい。

- 1) がんの3大治療は、(①) 療法、(②) 療法、(③) 療法であり、(①) 療法は、固形がん治療の第一選択とされ、特に早期がんにおいて効果の高い治療法とされてきた。近年は、免疫療法が加わった。
がん治療は、これらの1つの治療法のみで対応するのではなく、複数の治療法を組み合わせる治療法が行われている。それぞれの専門家がチームを作り、共同で治療方針を検討し、治療を進める (④) 治療が主流である。
- 2) がんの一次予防の対策の一つとして感染対策がある。細菌やウイルスの感染とがん発症には関連があるとされ、その例として、ヘリコバクターピロリ菌と (⑤) がん、ヒトパピローマウイルス (HPV) と (⑥) がん、B型・C型肝炎ウイルスと肝細胞がんなどがある。
- 3) がんの二次予防の一つとしてがん検診がある。がん検診は (⑦) 法に基づく事業として市町村において実施されており、その種類は、(⑧) がん検診、(⑨) がん検診、(⑩) がん検診がある。
- 4) がん対策推進基本計画において、(⑪) ケアは、がんと診断されたときから、がん治療と同時に行われるものとされており、身体的・精神心理的・社会的苦痛等の (⑫) な苦痛への対応により、患者やその家族等の QOL 向上を目標としている。

問題5 以下の文章が示す老化と関連する身体状態または疾患の名称を答えなさい。

- 1) 運動器の障害によって移動機能が低下した状態
- 2) 骨格筋量の減少と筋機能（筋力）の低下が進行する全身性の筋骨格系疾患
- 3) 加齢に伴う予備能力低下のため、ストレスに対する回復力が低下し、心身の脆弱化が出現した状態

問題6 スティグマ (stigma) とは、不名誉を意味する烙印 (らくいん) をさす。糖尿病スティグマについて、以下の問いに答えなさい。

- 1) 糖尿病スティグマにより起こる患者行動の変化について述べなさい。
- 2) 糖尿病スティグマを解消するための医療従事者の取り組み・対応について述べなさい。

問題 7 小児の発達に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑮) にあてはまる適切な語句や数字を、解答欄に記入しなさい (②、③ 順不同)。

- 1) ブリッジスによる「情緒の分化」では、情緒は新生児期に (①) から始まり、3 か月頃に (①) から (②) と (③) が分化し、(④) 歳頃までに情緒の基礎が形成される。
- 2) ピアジェの認知発達理論では、0～2 歳の (⑤) 期、2～7 歳の (⑥) 期、7～11 歳の (⑦) 期、12 歳以降の (⑧) 期の 4 つの段階に分けられている。「保存の概念」を理解するのは、(⑨) 期である。
- 3) 改訂日本版デンバー式発達スクリーニング検査では、乳幼児の発達について「(⑩) - 社会」、「微細運動 - (⑪)」、「(⑫)」、「粗大運動」の 4 領域から評価する。適応年齢は、(⑬) 歳～ (⑭) 歳である。
- 4) (⑮) 分類は、運動機能と知能指数を用いて障害のレベルを区分する。

問題 8 麻疹に関する以下の文章を読んで、(①) から (⑮) にあてはまる適切な語句や数字を、解答欄に記入しなさい (①～③ 順不同、④、⑤ 順不同)。

- 1) 麻疹は、麻疹ウイルスによる (①) 感染、(②) 感染、(③) 感染により感染する。麻疹の代表的な合併症は (④) と (⑤) である。まれに、麻疹ウイルスの長期的、持続感染により、(⑥) を発症することがある。
- 2) 麻疹は学校感染症に指定されており、出席停止期間は解熱後 (⑦) 日を経過するまでである。
- 3) 感染力は、(⑧) 期が最も強く、発熱とともに口腔粘膜に灰白色の斑点である (⑨) がみられる。(⑩) 期には、発疹の出現とともに (⑪) 性発熱がみられる。発疹は、(⑫) や頸部から体幹の順に発現する。回復期には、皮疹は (⑬) を残し、消失する。
- 4) 定期予防接種として、麻疹風疹混合ワクチンを (⑭) 回接種する。暴露後 (⑮) 時間以内には緊急ワクチンの接種を考慮する。

問題 9 妊娠の成立に関する以下の文章を読んで、正しいものには○を、正しくないものには×を解答欄に記入しなさい。

- 1) プロラクチンの急激な分泌により排卵が起こる。
- 2) 卵胞刺激ホルモン (FSH) は下垂体前葉から分泌される。
- 3) 卵子は、原始卵胞から排出される。
- 4) 卵子は、卵巣から腹腔内に排卵され、卵管采によって卵管に取り込まれる。
- 5) 卵子の受精能力は、排卵後 24 時間である。
- 6) 精子の受精能力は、射精後 12 時間である。
- 7) 受精は卵管膨大部で起こる。
- 8) 受精後 48 時間で着床する。
- 9) 受精後、プロゲステロンの分泌がなくなる。
- 10) 妊娠が成立しない場合の黄体の寿命は約 14 日間である。

令和 7 (2025)年度金沢大学養護教諭特別別科入学者選抜試験問題

小 論 文

(注意)

- 1 試験問題用紙は指示があるまで開かないこと。
- 2 試験問題用紙の所定欄に，受験番号を記入すること。
- 3 解答はすべて試験問題用紙の指定のところに記入すること。
- 4 下書き用紙の様式は 25 字×34 行 (850 字) である。

試験問題用紙の一行あたり字数や総字数の指定とは異なるので，考慮して使用すること。

